

中山間地域の課題解決への取組を支援する 令和5年度第2回「さとやま未来円卓会議」を開催します！

日時：令和6年2月7日（水）13:30～15:30 場所：YMCA2号館地下1階コンベンションホール（対面のみ）

令和5年度第2回「さとやま未来円卓会議」を、2月7日（水）13時30分から開催します。
今回は、構成団体からより多くの助言や情報提供がされるよう、これまでの全体討論形式から、初めて、発表者※ごとのグループ討論形式に変更し、発表者の活動の継続と発展につなげます。
是非、取材していただきますよう、お願いいたします。

※発表者：中山間地域の課題解決に取り組む「ひろしま里山・チーム500」登録者

「ひろしま里山・チーム500」とは、地域に関わりを持ちながら、様々な活動の実践者がつながり、地域づくり活動の輪を広げていくための人材プラットフォーム（令和5年12月末時点で677名が登録）

■ スケジュール

| 項目 | 時間 | 内容 |
|-----------|-----------------|--|
| 開会・挨拶 | 13:30～13:35 5分 | |
| 報告 | 13:35～13:40 5分 | 令和5年度第1回円卓会議発表者の状況について |
| 登壇者発表 | 13:40～14:10 30分 | |
| 発表者① | 13:10～13:50 10分 | <small>じんのうち あや</small> 陣内 綾氏 「伝統的な手仕事の継承～薫細工の産業化と価値向上～」 |
| 発表者② | 13:50～14:00 10分 | <small>とりい じつか</small> 鳥井 実香氏 「自分の“できる”をみつけられる居場所づくり」 |
| 発表者③ | 14:00～14:10 10分 | <small>みねお りょうへい</small> 峰尾 亮平氏 「農業からはじまる観光まちづくり」 |
| 意見交換 | 14:10～15:00 50分 | 発表者3名ごとのグループに分かれて意見 |
| 意見交換内容の共有 | 15:00～15:20 20分 | 各グループでの意見交換内容の共有等 |
| 閉会 | 15:20～15:30 10分 | 閉会 |

※発表者の発表内容は別紙のとおり

■ さとやま未来円卓会議の概要

| | | | |
|------|---|-----|------------|
| 名称 | さとやま未来円卓会議 | 設立日 | 平成30年6月18日 |
| 構成団体 | 36団体 | | |
| 設立目的 | 中山間地域の課題解決に取り組む実践者の活動を効果的に後押しするとともに、実践活動の継続と更なる活発化を図るために設立 | | |
| 支援内容 | 「ひろしま里山・チーム500」の活動に対する支援 ○ 活動継続に必要な人材や資金、情報、ノウハウの提供支援 ○ 専門分野における個別相談支援 など | | |

■ 当日のご出席について

準備の都合上、「メール返信用紙」へ必要事項を記入し、メールにて、2月6日（火）16:00までにお知らせくださいますよう、お願いいたします。

メール返信用紙

広島県 地域政策局 中山間地域振興課（里山人材力強化グループ）

担当 すぎやす 杉保 行

メール返送先：chichusankan@pref.hiroshima.lg.jp

令和5年度第2回 「さとやま未来円卓会議」

日時：令和6年2月7日（水）13：30～15：30

準備の都合上、こちらの用紙へ必要事項を記入し、メールにて、2月6日（火）16：00 までにお知らせくださいますよう、お願いいたします。

| | |
|---------|-----|
| 貴社名 | |
| 貴社媒体名 | |
| ご芳名 | |
| ご連絡先 | TEL |
| メールアドレス | |
| 備考 | |

※本返信用紙にご記入いただいた個人情報は、個人情報保護法の趣旨に照らし、適切かつ慎重に取り扱わせていただきます。

- 配布資料につきましては、お申し込みいただいたメールアドレスへお送りします。
- 当日ぶら下がり取材は実施しません。

令和5年度第2回さとやま未来円卓会議発表者概要

※ () 内は活動地域

| | |
|-------|--|
| 発表者① | <small>じんのうち あや</small> 陣内 綾氏 (東広島市豊栄町) 東広島市地域おこし協力隊/編織 amunau 代表 |
| 発表テーマ | 伝統的な手仕事の継承～藁細工の産業化と価値向上～ |
| 発表内容 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 藁細工をはじめとした伝統的な手仕事を継承していくために、地域おこし協力隊に着任し、農村の手仕事に着目した地域おこしに取り組む ○ 現在、「編織 amunau」を屋号に掲げて、藁細工を中心とした伝統的な手仕事製品の制作・販売、ワークショップ講師を町内外で行っている ○ 地域を巻き込みながら、安定して売り上げを確保できる事業にしておくための手段等に関する相談 |

| | |
|-------|---|
| 発表者② | <small>とりい じっか</small> 鳥井 実香氏 (三次市) 安田マルシェ/花笑カフェ 代表 |
| 発表テーマ | 自分の“できる”をみつけられる居場所づくり |
| 発表内容 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 花笑カフェの経営や定期的な安田マルシェの開催を行い、地域住民同士の交流や地域内外から人を呼び込むための活動を行う ○ 旧安田小学校を活用し、プロレスの興行や音楽コンサートなどのイベントも実行委員会形式で行っている ○ マルシェの出店者・集客数を増やすことを目的とした、安田マルシェのコンセプトの再検討や安田エリアに魅力を感じてもらおうための手段等に関する相談 |

| | |
|-------|---|
| 発表者③ | <small>みねお りょうへい</small> 峰尾 亮平氏 (江田島市) 瀬戸内いとなみ舎 代表 |
| 発表テーマ | 農業からはじまる観光まちづくり |
| 発表内容 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 江田島市の地域おこし協力隊としてオリーブ農園で栽培と加工を学び、協力隊任期終了後はオリーブオイルやオリーブの新漬けを製造する会社を起業 ○ 本場イタリアのアグリツーリズムを江田島でも展開したいという想いから「オリーブラボ江田島」をオープンし、年間を通じて「オリーブツアー」を開催している ○ 瀬戸内いとなみ舎としてのブランド力向上や、オリーブツアーの認知向上を目的とした広島市内事業者との連携等に関する相談 |